

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

# お互いを尊重しよう

## デートDV 田辺工業高で講座

田辺市あけぼのの田辺工業高校で8日、同居していない恋人間の暴力「デートDV(ドメスティック・バイオレンス)」の防止を啓発する講座が開かれた。2年生約160人が、自分と相手の気持ちを大切に、対等な関係を築くための心掛けを学んだ。

若者のデートDV防止を図る目的で県男女共同参画センター「りいぶる」が2010年度から実施している出前講座。本年度は県内8校で予定しており、紀南では既に、はまゆう支援学校、新翔高校、申本古座高校申本校舎で開いている。

今回の講師は、大阪府の市民グループ「女性と子どもネット・堺」の山中優子さんと辻川節子さん。DVは身体的・精神的・経済的・性的な暴力で相手を一方的に支配しようとすることで、どんなカテゴリーにも起こり得る身近な問題であると説明した。

生徒4人と教諭2人がデートDVの事例を寸劇で紹介。デートをするために彼女に部活を辞めるように迫る彼氏、彼氏の携帯電話から女友達の連絡先を消そうとする彼女な

どの例を示した。

山中さんらは「性別による固定観念にとらわれず、相手らしさを尊重し、自分を好きになることが大切」と説き、「対等な関係をつくるには相手と自分の気持ちを尊重すること。皆さんには、自分で幸せになつていく力がある。いい関係を築くことを願っています」と呼び掛けた。

濱崎有加さん(16)と山本桃花さん(17)は寸劇で束縛の強い彼氏に悩む女子と相談に応じる友達を演じた。濱崎さんは「デートDVに遭っている友達がいれば積極的に相談に乗りたい」、山本さんは「身近な人に被害があれば気付けてあげたい」と話した。



デートDVに悩む女子と相談に応じる友達を演じる生徒(8日、田辺市あけぼの)